

2022岡山市芸術祭

岡山市民の文芸

第54回岡山市民文芸祭受賞作品

ジュニアの部

【詩】

◎岡山市長賞

とうめいな子供たち

秀平 巫理沙 (朝日塾小五年)

とうめいな子供たち覚えていますか
わたしとあなたが遊んでいたときのことを
あなたはわたしが覚えていますが
わたしはあなたが見えませんが
とうめいだからね
ほかの人にも見えません
わたしはいつかあなたはわたしの所にもどってくることでしょう
いつまでも忘れないでください
そう世界中の旅の話をきかせて
あなたはとても長生き
わたしよりも軽い
わたしはとても追いつけない
どこにでもいける
どんなものにも変化できる
わたしはあなたがともうらやましい
けれどもあなたはわたしがうらやましいのだ
なぜだかわからない
けれどもそれを知れて晴れ晴れしている
だつてずっと自分のことをうらやましがっている人はいなかったのだ
わたしはこれでわかったきめつけけないほうがいいって
とつてもうれしかった
旅の話もたのしかったよ
雲から空の海へダイブ
見物が終わったらとうめいにもどつてガラスばりのエレベーターにのりこむ
なにもかと思ひ出になるよ
楽しい話ばかりだ
そしてわかれてしまったけれど忘れないよ
覚えていてね
さらさら流れる川のほとりでまっています

そうめんながし

森谷みゆ (横井小三年)

山から竹を切ってきた
葉っぱのついている枝は、山で下としてきた
のこぎりで切って、つゆ入れ四つ作った
竹の上の方がうすいから、そこを使った
つゆ入れを作ったのこりではしも四つ作った
わたしのは短くしてもらったよ
つぎは竹わり
なたを金づちでたたいた
なたが竹の間を通った
なたがふしの所を通ると、パカーンとわれた
そしてふしを取った
小さな金づちに持ちかえた
ゴルフみたいに横からたたいた
ぜんぶで十六こ取ったよ

いよいよそうめんながし
さいしよは、水で竹についたこなをながしたよ
そうめんがながれてきた
竹で作ったはしでそうめんをはさんだよ
かんたんにはさめたよ
ときどきぶどうもながれてきた
おじいちゃんが作ったふじみのり
ぶどうもはしでとってよ
ぶどうがふしで止まったけど手でながした
とちゅうで天ぷらも食べた
ちくわとおくらとかぼちゃとなす
たくさん食べたのでおながいっばいになったよ
ながす役にかわったよ
たくさんながしたら、みんなにストップと言われたよ
ぶどうもながしたよ
ながしている水はとでもつめたくてきもちよかった

わたしのすきなパイナップル

江田 愛理 (横井小三年)

わたしのすきな パイナップル
きけんだきけんだ さわるな葉っぱ
元気いっぱい トゲトゲいっぱい
画用紙よりかたい 元気な葉っぱ

わたしのすきな パイナップル
ふくは トゲトゲ チクチク
強いきょうりゆうのたまごみたい
お花がさけば
むらさき色のかわいいドレス

わたしのすきな パイナップル
ヒマワリみたいな かわいいきいろ
かむと あまくておいしい ふんすい
いっぱい食べると 口の中がピリピリ
パイナップルに 口の中を食べられた

やっぱり大すき パイナップル

【短歌】

◎岡山市長賞

あつい夏指揮のひとり息を吸うこの瞬間がわたしは大好き

是則 星奈 (就実中三年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

つかまつてぱになげられびっちゃんみずでっぽうではんげきかいし

森田 大陽 (第二藤田小一年)

生ビール飲むと毎回祖父がいうしみるしみると微笑みながら

中尾 嶺太 (上南中二年)

【俳句】

◎岡山市長賞

青風私の中を初期化して

泰安 幸美 (岡山中央中三年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

ぬいだのにはいてるみたいな日やけあと

片山 好誠 (福田小四年)

繁忙のほっとひといき蒸饅頭

山縣 尚透 (岡山後楽館中三年)

【川柳】

◎岡山市長賞

仲直り友達って最高だ

末廣 明衣 (就実中一年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

一人だと時の流れがおそくなる

橋本 恵典 (岡大附属中三年)

青い空絵の具をぼたり白い雲

福島 優亜 (第二藤田小四年)